

# 「平成27年度安全利用点検」を全ダムで実施！

## 【大保ダム(4月22日実施)】



学習の川へ下る斜路が雨水などにより浸食されており、歩行時に危険。  
不陸修正し、歩きやすくする必要がある。

## 【金武ダム(4月15日実施)】



下流左岸側で、昔ハブが見つかったことがある。遊歩道沿いにハブ注意看板またはハブ対策フェンスが必要。



駐車場のサイン表示(P)が必要。

## 【普久川ダム(4月10日実施)】



トイレの故障箇所の補修が必要。  
また、和式便器の洋式化の要望があった。



転落防止柵が老朽化しているので対策が必要。

## 【羽地ダム(4月22日実施)】



下流河川の栗石の隙間が空いている状態なので、利用者に怪我の危険性があり、補修が必要。



堤体右岸監査廊入口進入防止柵の高さが低く、利用者(子供)が進入して転落する恐れがある為、対応が必要。

## 【漢那ダム(4月22日実施)】



本ダム右岸側階段部の支障枝は危険なので剪定が必要。



右岸展望広場の手すり隙間が大きく、転落の危険があるので、すり抜け防止ビームを設置する必要がある。

## 【福地ダム(4月24日実施)】



堤体直下流河川の左岸側にある行き止りの階段に立入禁止等の喚起が必要。

## 【新川ダム(4月24日実施)】



堤体天端部転落防止柵の腐食の処置(錆落とし・塗装等)が必要。



かながな一広場車両出入口の側溝の隙間は、足を踏み外してしまう可能性があり危険。